

Core2Core プログラム 出張報告書

[出張者]

1. 宮川 拓也 (生命医科学専攻 武岡研究室 修士2年)

[訪問先]

1. Nanyang Technological University (NTU)、シンガポール、ナンヤン
2. 早稲田バイオサイエンスシンガポール研究所(WABIOS)、シンガポール、バイオポリス

[滞在期間]

2015年8月31日(月)～2015年9月26日(日) (25泊27日 機中1泊)

[概要] (ウェブ公表を前提)

本出張では、Nanyang Technological University (NTU)にて、佐藤裕崇博士と共にカブトムシと高分子超薄膜(ナノシート)を用いた融合研究において、武岡研究室で作製したマテリアルを用いた評価を行った。また、現地で行われたシンポジウムに参加し、口頭発表、ポスター発表を行った。滞在期間中の具体的な研究内容を以下に記す。

2015年9月1日(火): シンガポールに到着し、翌日以降の実験計画についての打ち合わせを佐藤裕崇博士、WABIOSの新井敏博士と行った。

2015年9月2日(水)～2015年9月5日(土): 評価対象となるカブトムシの取り扱い方、顕微鏡のセットアップ等について、Ferdinandus氏(NTU、学生)とともに検討した。

2015年9月7日(月)～2015年9月9日(水): シンポジウムへ参加し、9月7日に口頭・ポスター発表を行った。

2015年9月10日(木)～2015年9月14日(月): 検量線の作製実験をWABIOSにて行った。9月14日に佐藤裕崇博士、新井敏博士、WABIOSの鈴木団博士、Ferdinandus氏を交え、得られた結果についてミーティングを行った。

2015年9月15日(火)～2015年9月18日(金): 作製したマテリアルを用いた、カブトムシの温度測定実験をWABIOSにて行った。9月17日に佐藤裕崇博士、新井敏博士、WABIOSの鈴木団博士、Ferdinandus氏を交え、得られた結果についてミーティングを行った。

2015年9月21日(月)～2015年9月25日(金): 温度測定実験を継続して行った。データ解析について新井敏博士よりご教授いただいた。9月22日に佐藤裕崇博士、新井敏博士、WABIOSの鈴木団博士、Ferdinandus氏を交え、得られた結果についてミーティングを行った。

2015年9月26日(土): 日本に向けて帰国

[総括]

滞在中の実験およびディスカッションを通じて、カブトムシの筋組織をターゲットにしたNTUとの共同研究において、当研究室で作製したマテリアルが有用であることが確かめられた。出張者は帰国後に、滞在中に得られたデータを論文にまとめている。

以下、滞在中の写真を掲載する。



左から新井敏博士、宮川、Ferdinandus 氏
(WABIOS にて)



左から後藤耀諒氏、宮川、佐藤信孝氏
(バイオポリスにて)